

② 大館南地区 【水土里ネット二井田真中】

地元中学校の農園活動を支援 “キーワードは「地域・環境・守る」”

今年も中学校での農園活動が行われ、土地改良区が参加してから9年目を迎えました。

生徒たちにはマルチ掛け作業と苗植え体験などの指導を行いながら、水の管理や雑草対策、収穫作業を体験してもらい、管理の重要性や環境保全につながることへの大切さと、自分たちの住んでいる地域や土地改良区の役割などに関心を持っていただきました。

今年度も地元コーディネーターの方々が参加、協力を得ながら「えだ豆」や「さつまいも」などの野菜を植え、作業を終了しました。

夏には「えだ豆」の収穫体験、秋には収穫した「さつまいも」を使用した「なべっこ遠足」で舌づつみを打ち、25年度の農園活動も無事に終了いたしました。

学校農園活動を行う中学校は少なくなってきており、生徒数の減少などから農園活動は今年度をもって終了となりますが、南中生のみなさんには農園をつくることで地域も環境も守られるという事を少しでも感じてもらえたら嬉しいです。

今後は、これまでの経験をもとに新たな活動を検討していきたいと思っております。



活動体制	
実施主体	水土里ネット二井田真中（大館市二井田真中土地改良区）
後援・連携	大館市立南中学校
実施期間	6月5日、6月13日
参加者	大館市立南中学校 生徒68名
報道関連	
活動実施年数	9年目
連絡先	〒018-5751 大館市二井田字高村56 大館市二井田真中土地改良区 TEL. 0186-49-5010
その他	県奨励賞（H22）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット二井田真中（菅原恵里子）

○活動の目標及び達成率	目標	農園活動を通じた地域の環境と水土里ネットの役割への理解			
	達成率	80%			
○活動に対する評価	「地域・環境」という共通の目的をもって、中学校との連携体制が定着している。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	B	
①役職員・組合員の参加	A	活動に対する理解の定着	③運動の計画性	C	
②後継者育成の工夫	B	地域の環境と役割について理解を深めってもらうため活動を継続的に行っている	4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	B	
①基本理念の設定	A	作る事により地域や環境が守られていることへの理解	b. 地域農業	B	活動を通じて地域農業について理解と関心を深めてもらい将来の担い手につながればよいと思う
②地域の歴史等の伝承	B		c. 地域コミュニティー	A	継続していくことで関わりを深めている
③運動の先駆性	A	作る事により地域や環境が守られていることへの理解	d. 地域資源管理	C	
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A	無理のない範囲での活動			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他